

第2回横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

開催日時	平成22年3月2日(火)午後1時から午後5時30分		
開催場所	緑区役所3階 特別会議室		
出席者(敬称略)	春日井宏彰、岸日出夫、松岡美子、村井祐一、山口浩、横塚靖子、吉田英二		
欠席者(敬称略)	田中賢		
開催形態	非公開		
議題	(1) 第1回選定委員会議事録の確認 (2) 応募状況、審査方法について (3) 財務評価及び事業実績評価について (4) 面接審査(応募団体によるプレゼンテーション、ヒアリング等) (5) 審議		
決定事項	以下の団体を指定管理者の優先交渉権者として選定し、緑区長に報告する。		
	ケアプラザ	優先交渉権者	評価得点/満点(最低制限基準)
	長津田	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	742点/1,050点(588点)
	十日市場	社会福祉法人 神奈川県匡済会	630点/1,050点(588点)
	中山	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	782点/1,050点(588点)
	東本郷	社会福祉法人 和枝福祉会	681点/1,015点(567点)
審議経過	1 開会(進行 委員長) 委員出席数7名(委員会成立確認)  2 議事 (1) 第1回選定委員会議事録の確認 議事内容を再確認  (2) 応募状況、審査方法について 応募状況、審査方法及び最低制限基準の確認  (3) 財務評価及び事業実績評価について 資料の内容を確認  (4) 面接審査(応募団体によるプレゼンテーション、ヒアリング等) ① 長津田地域ケアプラザ〔応募団体:社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会〕 [プレゼンテーション概要] 法人紹介、応募理由、施設運営の基本理念(地域に開かれた利用者本位、利用者主体の施設)・基本方針(「参画」と「連携」の推進、幅広い地域課題への対応、公共的使命～社会的要請への対応)、地区分析、課題・重点取組(広報活動の強化、より求められるニーズへの対応、こちらから出向っていく視点)、事例紹介、地域の皆様やご利用者との取組等について説明 [質疑概要] 委員:子育て支援団体との連携について、具体策はあるか。 法人:既存の子育て関連事業の拡充(地域団体との共催)、子育て支援拠点での情報発信、人材・プログラム等の支援を頂くこと等を考えている。 委員:長津田地区の特性を踏まえ、ホームページからの情報発信で具体策はあ		

るか。

法人：施設独自のホームページの拡充、情報掲載を初めに行う。携帯サイトの活用も考えている。

委員：地域とのつながりに関連し、自治会を通じた広報誌やチラシの配布は現在行っているのか。自治会掲示板への掲示はどうか。

法人：自治連合会のご協力のもと、毎月の広報誌を回覧している。ケアプラザへのご理解、事業への参加申込み等で効果がある。チラシの設置拠点を拡充したい。掲示依頼を行わない場合でも、自治会で掲示のご協力を頂いている場合もある。

委員長：ケアプラザに配置された人材が地域に定着し、顔の見える関係ができた中では人材の異動に伴うリスクは避けて通れない問題もあるかと思うが、ケアプラザ職員の人事異動について、特段の考え方、配慮はあるのか。

法人：当法人には430名程の常勤職員が在籍している。ケアプラザ16か所、老人福祉センター、地区センター等の施設、及び18区の社会福祉協議会（職員出向）等の事業所においては、ご利用者様との関係を築きながら継続したサービスを行っていきたいと考えている。職員の人材育成の視点もあるため、異動については概ね5年程度と考えているが、状況によっては長短がある。

委員長：「専門知識を持った有資格者の配置が可能である」という記載に関連して、地域コーディネーターに対する考え方はあるか。

法人：地域活動交流事業においては、地域の方々と一緒に地域を作り出していく、ニーズを把握していくという視点が必要なことから、予算等の諸要件が整えば、一定の資格を持った者を将来は配置したいと考えている。

委員：地域福祉保健計画等におけるケアプラザの役割を考えると、地域の実情に明るい人が必要となる。ボランティアの役割は重要と考えるがどうか。

法人：現在の、個人登録制によるボランティアセンター的な機能は弱い。しかし戦略としては、事業に参加した方をフォローアップし、地域の方がケアプラザに足を運ぶ仕掛けを作ること、将来的にボランティア等の人材になっていただく、つまり、さまざまな事業を通しての人材発掘を行いたいと考えている。例えば「トイレを借りる」という程度のことで、地域の方々にケアプラザへ足を踏み入れていただくことが大変重要なことだと考えている。

委員：デイサービスの今後について、施設スペース面の要望等に対してどのように考えているか。

法人：現在は、経営や施設スペース面について安定した事業運営を行えている。しかし、認知症対応型デイサービスを行うには施設スペースが不足しており、他施設のサービスを併用されているご利用者に対しては心苦しく感じている。

## ② 十日市場地域ケアプラザ〔応募団体：社会福祉法人 神奈川県匡済会〕

### 〔プレゼンテーション概要〕

法人紹介、地域福祉拠点へ取り組む意味（住みよい地域社会の実現、地域とのネットワーク構築）、法人経営状況、施設の現在までの取組み状況（ボランティア、はまちゃん体操リーダー養成、サロン、高齢・障がい・子育ての諸事業等）、次期の課題（質を高める、事業活動の展開、人材育成・職員の定着）等について説明

[質疑概要]

委員：子育てに関する各種事業及び団体間でのネットワークについて、考え方を伺いたい。

法人：高齢、障がい、子育ての各分野におけるネットワーク、及び地域の自治会、関係団体とのネットワークを作って行きたい。

委員：具体策はあるか。

法人：事業の企画面で共に汗を流すことが大切だと考えている。

委員：サロンの利用状況を見ると参加者が多い。

法人：サロンの母体から分離した「ららら♪うたの会」のメンバーが多く参加しており好評だ。ボランティア育成にもつながっている。

委員：法人理念の説明にあった「高齢者に敬意を」という言葉を評価する。昔の苦しく貧しい時代を若い人が知らない場合がある。伝え方についてどのように対応しているか。

法人：意識の問題が大切だと考えている。理念や歴史の説明、及び所管施設見学を実施し、人権や自立について考える機会を職員に与えている。

委員：事故防止や災害時の対応についてはどうか。

法人：事故防止については、職員研修、マニュアルの整備を行っている。特別避難場所であるケアプラザは、市及び法人による災害用の備蓄も行っている。所長もケアプラザ近隣に居住し、災害時に備えている。

委員：指定管理料提案書のうち、地域活動交流事業における事業費の提案額が低く感じられるがどうか。

法人：これまで市から受けていた指定管理料の予算の枠に沿った内容で提案している。

委員：ボランティアはどのような事業に参加しているのか。

法人：ケアプラザの自主事業に参加している。ボランティア希望者の多くがケアプラザでの活動を希望している状況だ。

委員長：地域福祉保健計画に対する考え方において、申請書の記載が少ないが、具体策はあるか。

法人：区の計画、地域の特色に沿って、それに向かってケアプラザは努力する。地域の各種団体、特に自治会と関係をつくり、協力していく。

③ 中山地域ケアプラザ〔応募団体：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会〕

[プレゼンテーション概要]

応募理由、法人概要、人材・スケールメリット、所長の考え方（「できること まだ まだ」、管理運営の目標（顔の見える関係作り、支援が届く仕組み作り、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり）、施設管理・利用促進、関連機関・地域団体との連携（地域福祉の拠点を旨とする）、地域特性、包括（「地域とともに」）・介護予防・地域活動交流（地域福祉保健計画）・通所介護・居宅介護等事業、ボランティア育成・支援、「全職員がいつでも相談にのれる体制」等について説明

[質疑概要]

委員：区域の中心に位置することに加え、複合館でもある。連携・ネットワーク面について今後の考え方を教えてほしい。

法人：複合施設内の連携は、所長会の開催、職員及びサービスを含めた連携体

制をとっている。区内ケアプラザを始め、近隣の障がい・高齢者の施設、自治会、民生委員児童委員、保健活動推進員等、事業面での連携を行っている。子育て事業での連携は課題だが、来年度から情報発信を含めたネットワークづくりに取り組む予定だ。

委員：子育て団体のネットワークづくりにおいて重要な広報についてはどうか。

法人：イベントカレンダー等を掲載した広報誌を地域に回覧・設置している。施設ホームページでも情報を発信している。地域の方のご協力を得て職員が地域に出向いてPRも行っている。様々な媒体を使い、いろんな世代の方に情報を伝えること、及び顔の見える関係づくりを重視している。団体のネットワークについては、交流会等を行っている。

委員長：苦情対応について、どのような事例があるか。

法人：デイサービス送迎の際、日程を誤り、迎えが出来なかったケースに対し、関係性を崩したくないのでこのようなことがないようにとご利用者のご家族からご指摘を受けたことがある。また、送迎時の言動等について苦情をいただいた際には、話し合いを行い改善につなげた。

委員：隘路の多い地域だが、車の所有数はどうか。

法人：デイサービスは4台、地域活動交流と包括支援センターが共に使用する車両が1台だ。

委員：地区社協でも送迎サービスを行っているが、一般的にケアプラザ職員は送迎実施時、非常に丁寧な対応を行っている印象を持っている。送迎時のトラブルはあるか。

法人：壁面に車両をこする程度の事例はある。一般の駐車場等を利用してUターンを行わざるを得ない場合は、事前にご了解を得て行う等の対応を行っている。

委員：職員異動の期間は決まっているのか。

法人：特に何年というものは無い。有資格者はその資格に応じて様々な経験を積み、またそれが法人のスケールメリットにもなっている。一方で、ケアプラザの地域での関係づくりは10年程度という面もあり、異動においては双方を考慮している。

委員：介護予防においてインフォーマルなサービスを活用するとの記載があるが、ケアプラザから団体に対し紹介を行っているのか。

法人：ご本人の意思、内容等を確認した上で調整を図り、地域や区の事業、ケアプラザの自主事業等へつなげている。

#### ④ 東本郷地域ケアプラザ〔社会福祉法人 和枝福祉会〕

##### 〔プレゼンテーション概要〕

法人概要、法人活動方針、施設内部体制の強化及び地域との関係づくり、今期の取り組みと課題（適正な業務運営とサービスの質の向上、「地域との関係作りから地域づくり」のアプローチの変化、ケアプラザを信頼してもらう）、地域活動交流・包括支援センター・通所介護・居宅介護の各事業や事例の紹介、地区人口分析、地域の支えあい、次期の長期ビジョン・運営方針、地域福祉保健計画、ケアプラザのあるべき姿、地域の方との顔の見える関係性等について説明

##### 〔質疑概要〕

委員：区東部に位置する施設と重要となる、広報活動の考え方はどうか。

法人：港北区の方の利用も多い。小机地区のケアプラザにも広報誌を配布している。ケアプラザを起点とするミニバスの運行により、東本郷地区内においても周知がより進んでいる。個別支援等を通じた口コミによる情報等の周知も効果を上げている。

委員：地域での中心的施設として、区内での各種「連携」についてどのように考えているか。

法人：障がい支援である「みんなでボッチャを楽しもう」という自主事業において、長津田地域ケアプラザ等との合同開催が好評で、利用者拡大や活動・交流の機会の増加につながっている事例がある。コーディネーターを中心とした、こうしたコーディネート機能を一層強めていきたい。戦略的にどうするか、前に出ていかないと形にはならないと考えている。常勤1名のコーディネーターだけでなく、非常勤のサブコーディネーターを含め、前に出て行くことのできる環境づくりを行いたい。ケアプラザ同士の連携、地域とのつながりにつながっていくと考えている。

委員：地区社協のボランティア交流会にもコーディネーターが参加してくれている。地域とも密接に活動していただき評価している。ヒヤリハット対応など、事故防止についてはどのように行っているのか。

法人：事故に関しては対応マニュアルを備えている。開所して以来、大きな事故はない。朝礼等を活用し、ヒヤリハットを中心に注意喚起を日常的に行っている。月々の職員会議でも品質管理として報告・共有を行っている。

委員：長津田だけでなく、他のケアプラザとの交流もあるのか。共催事業を行うことは効果が見込まれ、重要なことだと感じた。

法人：鴨居地域は、以前は東本郷の担当区域であったこともあり交流がある。共催事業としては行ってはいないが、他のケアプラザとも所長を初め、連携をとっている。

委員長：ボランティアの育成と状況を教えてほしい。

法人：東本郷地区社協ボランティアセンターと連携し、コーディネートを行っている。デイサービス等にもボランティアを導入している。障がい分野に関連した自主事業を通じて、ボランティア育成にも取り組んでいる。ボランティア登録は今年度4月から12月までの新規登録が15件、施設内の自主事業では241件、デイサービスでは222件という状況だ。

委員長：第2期地域福祉保健計画での考え方はあるか。

法人：昨日、地区別計画策定委員会に参加し、地域の方と議論を行った。地区社協ステップ事業にもケアプラザは参加しており、地域でのアンケート調査を共に実施しているところだ。

#### (5) 審議（優先交渉権者の決定）

審査の結果、優先交渉権者について、全員一致で決定し、緑区長に対し報告することとする。結果は以下のとおり。[評価得点/満点(最低制限基準)]

##### ①長津田地域ケアプラザ

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 [742点/1,050点(588点)]

[審査講評]

施設におけるこれまでの実績や、現状についての分析、今後に向けた具

	<p>体的な重点取り組みなどを評価します。</p> <p>②十日市場地域ケアプラザ  社会福祉法人 神奈川県匡済会 [630点/1,050点(588点)]  〔審査講評〕  ケアプラザでの15年に渡る運営実績、ボランティア分野での取り組みを評価します。ただし、今回提出された事業計画書においては、各種事業における今後の取り組みについての具体性や、施設運営に対する所長の考え方について読み取れない部分があった点、職員の育成や、職員と地域との顔の見える関係づくりの点について更なる取り組みが必要である点など課題として指摘します。</p> <p>③中山地域ケアプラザ  社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会 [782点/1,050点(588点)]  〔審査講評〕  地域との顔の見える関係づくりや、ボランティア支援の取り組みなどの実績、また、今回提出された事業計画書やプレゼンテーションなどが全体的によく整理されている点を評価します。今後、子育て事業を中心とした区社協等とのネットワーク構築や、職員の人事異動での地域ケアプラザに対する配慮を行ってほしい。</p> <p>④東本郷地域ケアプラザ  社会福祉法人 和枝福祉会 [681点/1,015点(567点)]  〔審査講評〕  所長を初めとする施設職員が一体となり、意欲を持って各種の事業に取り組んでいる点、地区社協等の地域団体と連携を行い、地域と顔の見える関係を構築している点を評価します。なお、今回提出いただいた事業計画書の記載が簡潔で、内容を理解するには補足説明が必要な状態であった点については指摘をします。</p> <p>3 閉会</p>
資料	<p>次 第 第2回横浜市緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会次第  資 料 ・第1回選定委員会議事録  ・最低水準基準の設定について  ・応募団体申請書類等一式</p>